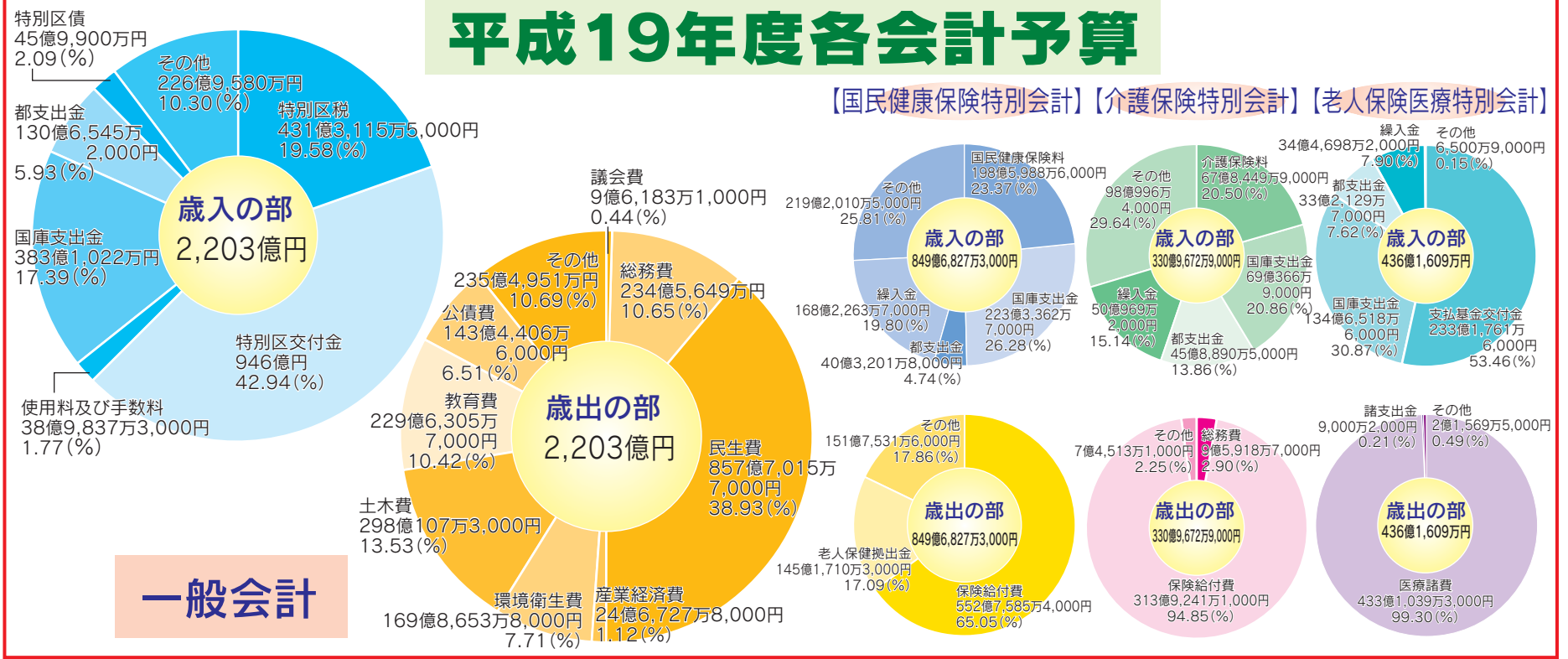


平成19年度各会計予算



平成19年度各会計予算を審査するため、2月20日の本会議で、予算特別委員会を設置しました。

3月1日に委員会を開会し、鴨下稔委員長、小泉ひろし副委員長、渡辺修次副委員長を選任し、3月9日まで計6日間審査を行いました。

委員会での質疑及び審査結果

協働で築く力強い足立区の実現に向けて、基本計画を着実に前進させるため、平成19年度予算を「子どもの未来とまちの活力を育む予算」としています。

本特別委員会では、鈴木区政2期8年の取り組みと成果、都区財政調整交付金、積立基金、少子化への対応のほか、各主要事業についても多くの委員が質疑を行いました。

また、一般会計予算及び介護保険特別会計予算に対し、ぬかが和子委員外4名から、それぞれ修正案が提出されました。

3月9日、全ての質疑を終え、各党派の討論の後、原案及び修正案を採決しました。

その結果、原案の4議案は可決すべきもの決し、修正案は否決しました。

(討論の要旨は7頁に記載)

本会議での議決結果

3月15日の本会議において、鴨下稔委員長は、委員会の審査経過及び結果を報告しました。

その後、各会計予算案の採決を行い、いずれも原案のとおり可決し、平成19年度予算が成立しました。

平成19年度各会計予算 予算特別委員会設置

予算特別委員会委員 (25名)

鴨下稔	委員 委員長	小泉ひろし	委員 副委員長	渡辺修次	委員 副委員長	市川山	委員	高橋信之	委員	加藤剛	委員	せま剛	委員	藤沼明	委員	白根治	委員	長正輝	委員	鈴木昭一	委員	うすた直	委員	たがみ浩	委員	ふちわかみ	委員	前野明	委員	三好雄	委員	藤好雄	委員	鈴木おみ	委員	大井三	委員	秋山	委員
-----	--------	-------	---------	------	---------	-----	----	------	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----	------	----	------	----	-------	----	-----	----	-----	----	-----	----	------	----	-----	----	----	----

特別委員会報告 (要旨)

公共財産等活用調査特別委員会

本特別委員会は「公共財産等の有効活用に関する調査研究について」を調査する目的で設置しました。

旧本庁舎跡地利用建設計画について

昨年4月には、旧本庁舎跡地に、「あだち産業芸術プラザ」がオープンしました。

南棟の「東京芸術センター」には、「天空劇場」等が設置され、

北棟の「あだち産業センター」には、区内中小企業経営者等を支援する施設が入りました。

この建物の竣工により、「旧本庁舎跡地利用建設計画」については、調査終了になりました。

公有財産の有効活用について

「公有財産の活用構想」で検討対象となった大規模施設跡地を中心に議論が行われました。

昨年9月には「東京芸術大学千住キャンパス」が開学し、旧第二中学校跡地利用では、平成19年4月に「東京未来大学」が開学予定となっています。

また、土地開発公社が購入した、日暮里・舎人ライナー関連用地から、カドミウム等が確認されたため、除去費用等について、区が原因者に損害賠償請求訴訟を提起しています。

現在、各種施設の統廃合等で活用可能になった土地・建物が多数存在しており、足立区公共施設再配置審議会から、今年度中に答申が出される予定です。

公共財産等の活用には、地域住民の声に耳を傾けながら、限られた財産をいかに有効に活用できるかという観点から取り組まれることを強く要望します。

区内鉄道路線の高架化について

竹ノ塚駅付近の踏切自動化や歩道橋設置等の緊急対策を講じていますが、鉄道高架化の早期実現が最も重要です。国で新規格工準備箇所とされましたので、国や都・鉄道事業者と費用負担等の協議を進めていきます。

コミュニティバスについて

新線の開業に合わせたバス路線の再編や、新たな路線を要望しました。

そのほかにも、環七高速鉄道、地下鉄8号線、地下鉄竹の塚・王子・池袋線(仮称)の新線誘致に取り組みんでいます。

快適で住みよいまちづくりのためには、交通網の整備や都市基盤の整備は欠かせません。実際には課題も多くありますが、地域の方々の理解と協力を得て、関係機関と連携し、今後も積極的に取り組む必要があります。

足立区議会情報公開制度の実施状況

平成18年度	請求件数及び処理状況						開示率(%)
	請求件数	取件件数	開示	一部開示	非開示	存在非開示	
平成18年度実績	5	0	1	4	0	0	100

*平成18年4月1日～平成19年3月31日

交通安全について

平成18年の交通事故は、前年より減少しましたが、自転車の事故が目立っています。自転車用標識の設置や、走行しやすい工夫について要望しました。

災害対策について

災害時に医療や入浴・理容等の協定を結んでいます。今後も、様々な協定を締結するよう要望しました。

また、防火対策について足立消防署と協議会を開催しました。その内容を踏まえ、放火対策や室内用火災警報器の早期普及等を区に要望しました。

オウム真理教(現アールフ)対策について

地域住民の方々や公安調査庁・警察等関係機関とさらに連携を図るよう要望しました。

安全・安心な社会の確立をめざし、区民の安心感を確保することが区の使命です。

そのためには、幅広い視野に立った、総合的な対策が不可欠です。引き続き、様々な施策・事業を積極的に実践することを要望します。